

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
音 楽	器 楽	教 芸

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の活動において、楽器の基礎的な奏法を身に付けて表現したり、創作や鑑賞の活動との関連を図ったりすることを通して、楽器のもつ魅力を知覚・感受することができるよう、内容の系統性がよく図られている。 ・器楽による表現のよさを味わうために、美しい音色で表現する工夫を話し合う場を設定するなど、主体的な活動が多く取り上げられている。 ・器楽の活動において、自分の表現したい音のイメージを明確にし、様々な奏法を工夫する活動が多く取り上げられている。 ・「音楽を形づくっている要素」などの〔共通事項〕が教材ごとに明確に位置付けられている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を喚起し、楽器のもつ魅力を十分に引き出すために、楽器の特徴的な奏法を体験できる教材や学習活動に十分配慮がなされている。 ・楽器の基礎的な奏法を身に付けることができるよう、学習活動が段階的に位置付けられているとともに、生徒にとって魅力的な活動が工夫されている。 ・家庭でも主体的に楽器の演奏を楽しむことができるよう、生徒の興味や関心にそった内容が取り上げられている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器を用いた学習として、我が国の代表的な和楽器が取り上げられているとともに、学校や生徒の実態に応じて、和楽器の魅力を十分に味わうことができる学習活動が工夫されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜、写真、文字が効果的にレイアウトされ、落ち着いた色調になるよう、十分配慮がなされている。 ・撥水加工がされており、破損しにくい加工となっている。 ・巻頭や巻末において、学習内容に準拠した資料が示されている。また、目次に学習目標が示されており、学習者に学ぶ内容が分かるよう、よく配慮がなされている。
5 総 評	<p>器楽の活動において、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じることができるよう、学習活動がよく工夫されている。また、楽器のもつ特徴や奏法の違いによる音色の変化に着目したり創作の活動との関連を図ったりするなど、魅力的な学習が展開できるよう内容が十分工夫されている。</p>